

## ペット質問箱

### 混合ワクチンを打つ頻度は？

#### 犬、猫とも毎年必ず接種を

**問** 犬や猫の病気を予防する混合ワクチンについて、インターネットの記事に毎年ではなく2、3年に1回の接種で大丈夫だとして書いてありましたが、本当ですか。

**答** 海外のある獣医師協会が提唱した世界的なワクチンガイドラインによると、全ての犬に接種が奨励されるコアワクチン（ジステンパー、アデノI型、パルボウイルス）は接種後2、3年間効果（抗体価）が維持できるとし、接種間隔を3年ごとに設定し

ています。その他の感染症は、各地域の流行状況によって種類は異なりますが1年ごとの接種を推奨しています。

日本の場合、レプトスピラ症という主にネズミの尿から感染する人獣共通感染症があり、混合ワクチンは、このレプトスピラ菌のワクチンが含まれているものが主流となっています。レプトスピラ症が日本各地で報告され、水辺近くを行動範囲としている犬には感染リスクが高い感染症だからです。つまり、レプトスピラ症の感染予防の点

で、少なくとも日本では1年に1回の接種は必要不可欠だと言えます。

一方、猫の場合もやはりコアワクチン（伝染性鼻気管炎、汎白血球減少症、カリシウイルス）の接種間隔が3年ごとに設定されています。しかし、伝染性鼻気管炎とカリシウイルスについては多頭飼育、外飼い、ペットホテルを利用するなど感染リスクが高い環境にいる猫は毎年の接種を推奨しています。

国内の猫用ワクチンのほとんどはコアワクチン3種の混合ワクチンですので、3種とも毎年接種していくのが妥当でしょう。

動物の健康状態によってはワクチンが打てないこともあるので、毎年健康診断がてら病院とよく相談して正しい予防をしてあげてください。

（山田 輝貴・県獣医師会員）

<月1回掲載します>

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422-8670 静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Eメール<seikatsuhoudou@shizuokaonline.com>や、右のQRコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。

